

月 -

# 復命書

2009年 7 月 27 日

新政会 代表  
望月 厚司 様

議員名佐藤成子

下記のとおり、政務調査費による視察を実施したので、ご報告します。

1 日 時	2009年7月25日(土曜日)	
2 視 察 先	(1) 都 市 名 視 察 先 施 設 等	女性のための政治スクール 15 期 会場 剛堂会館(千代田区紀尾井町)
	(2) 対 応 者	社会福祉法人神戸福生会 理事長 中辻 直行氏 厚生労働省老健局企画官 藤原 朋子氏
3 目 的	15 期のテーマ 経済危機を乗り越える～命・生活・雇用を守るために～10回シリーズのカリキュラム 例年、全国から参加の地方議員との情報交換も含めて、各回著名な方々のタイムリーな講義を聞いて、政策立案や総括質問など議員活動に生かすために参加している	
4 内 容	(調査事項・調査結果を具体的に) 『福祉と雇用～介護保険制度を中心に～』 社会福祉法人神戸福生会 中辻 直行 理事長 崩壊の危機に立つ日本の社会保障 900兆円超えての国債残高・200兆円超えの地方債権がある。一方で、小泉構造改革から続く社会保障費の抑制。 出口が見えなくなった介護保険制度改革 2 度の見直しによる介護報酬引き下げ。その後の人材確保のための3パーセント引き上げ。21年補正で介護職の給与引き上げ。12年に改定される。介護保険料・介護報酬。公費負担の財源はどこから?都市部での介護ニーズの急増。介護基盤整備の必要性。 労働市場から見放された介護職 養成校・大学の定員割れ。介護職の離職率のたかまり。 介護従事者の需要見通し 2012年までに介護職	

30万人の雇用が必要。(2009年の補正で対応) 介護報酬は低すぎるのか 間違ったビジネスモデル・コスト産業政策の欠如 社会福祉法人の現状と課題 18000の社会福祉法人の数・零細同族経営が多い。低い専門性と脆弱な経営基盤 国民が願う中福祉・中負担 現状は低福祉、高負担。将来の国民負担率は最大で50パーセント以下へ。消費税の引き上げ議論が必要か？

『高齢者介護の現状と課題』

厚生労働省老健局企画官 藤原 朋子 氏

介護保険導入の経緯と意義 要介護高齢者の増加・介護股間の長期化などニーズの増大から、高齢者の介護を社会全体で支えあう仕組みの創設

高齢者保健福祉政策の流れ・介護保険制度のしくみ・介護保険制度の実施状況・介護保険財政の動向・3年に1度の制度見直し・第1号保険者の保険料負担・利用者負担など説明 要介護度別認定者数の推移・2004年455万人に。認定率も増加している。それに伴いサービスを受けている人も増加の一途。

認知症高齢者の増加・75歳以上の高齢者の増大。急速に進む都市部での高齢化

これからの対応と問題点 第1次ベビーブーム高齢化するのに伴い、個別ケアの推進必や、認知症ケアの推進が必要。老夫婦世帯や高齢者単独世帯の増加 家族介護を当てにしない独居モデルの確立。高齢者住宅の確保と療養環境の整備。地域包括センターの整備と予防重視型システムへの転換 長寿あんしんプランなどを参考にする(和光市)

介護職員の賃金アップと離職率を下げる。 介護分野における経済緊急対策(21年度補正予算措置)

課題 介護保険制度の果たす役割・介護サービスの在り方・サービスの質の向上・マンパワーの計画的養成確保・地域のネットワークの仕組みづくり・財政問題・診療報酬介護報酬同時改正時の課題

5 成果・市政  
への反映等

かなりの課題を抱えているこの分野。多かれ少なかれいずれも同じ課題がある。ただし、行政単位で解決できることも多々ある。福祉にお金を回すかどうか。。多い胃に語るべきだと思う。いま私のもとに、2件の相談がある。いずれも、施設介護での施設不足のことだ。預かる側の言い分ももっともだし、預けたい側の思いもわかる。行政の力が必要なものだけれど先立つものもないし、法律や規則で縛られていることもある。両者が一致するのはなかなか難しい。いずれも国の制度の中での施行する立場なので。。である。ころころ代わる制度では困る。現場を見て政策に結び付けたいものだ。制度の勉強と現場の声をこれから繋げたい。

法律を作る側の姿勢と長年現場で働き続けた人の両者の声が伺えてよかった。これからの政策提言の参考にしたい。